



2025年11月期 第3四半期決算説明資料

ジャパニマス株式会社(証券コード:9558)

2025年10月6日

Contents

目次

- ・ 業績ハイライト
- ・ 中期経営計画の進捗

01

Performance Highlight

業績ハイライト

■ オンサイト型開発支援においてIT関連案件の需要が引き続き堅調であることから、前年同期比で増収増益

(単位:百万円)

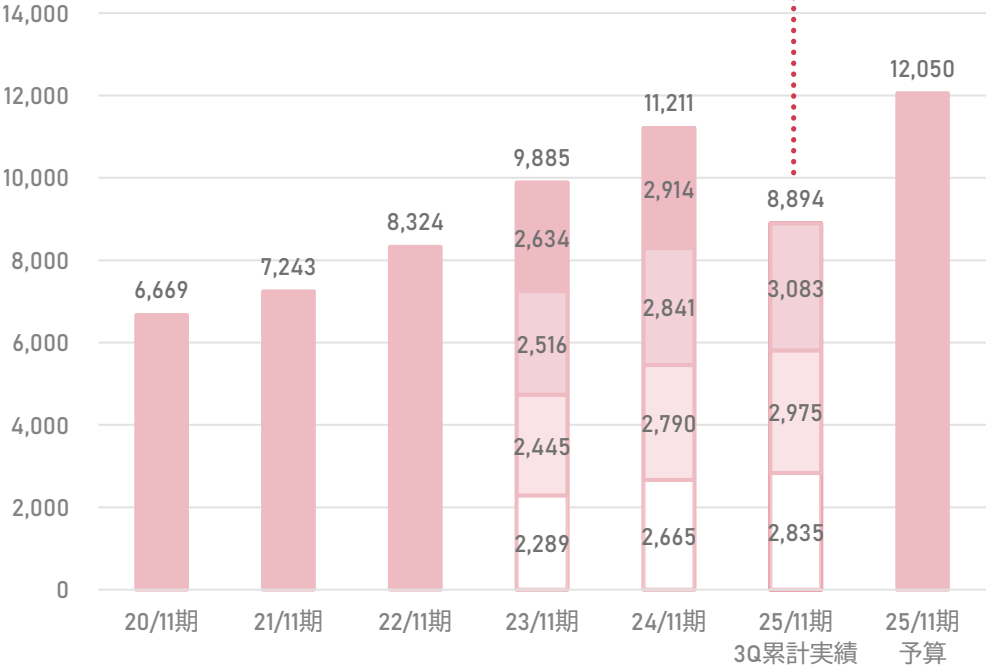
	2024年11月期 第3四半期累計実績	2025年11月期 第3四半期累計実績	前年同期比		2025年11月期 業績予想	進捗率
			増減額	%		%
売上高	8,297	8,894	597	+7.2%	12,050	73.8%
売上総利益	2,056	2,237	181	+8.8%	3,170	70.6%
営業利益	547	633	86	+15.8%	1,040	61.0%
経常利益	607	715	107	+17.7%	1,130	63.3%
純利益	396	469	72	+18.3%	800	58.7%

売上高は重視する経営指標がいずれも前年を上回る水準で推移したことにより前年同期比で+7.2%、経常利益は前年同期比で+17.7%と伸長

財務ハイライト

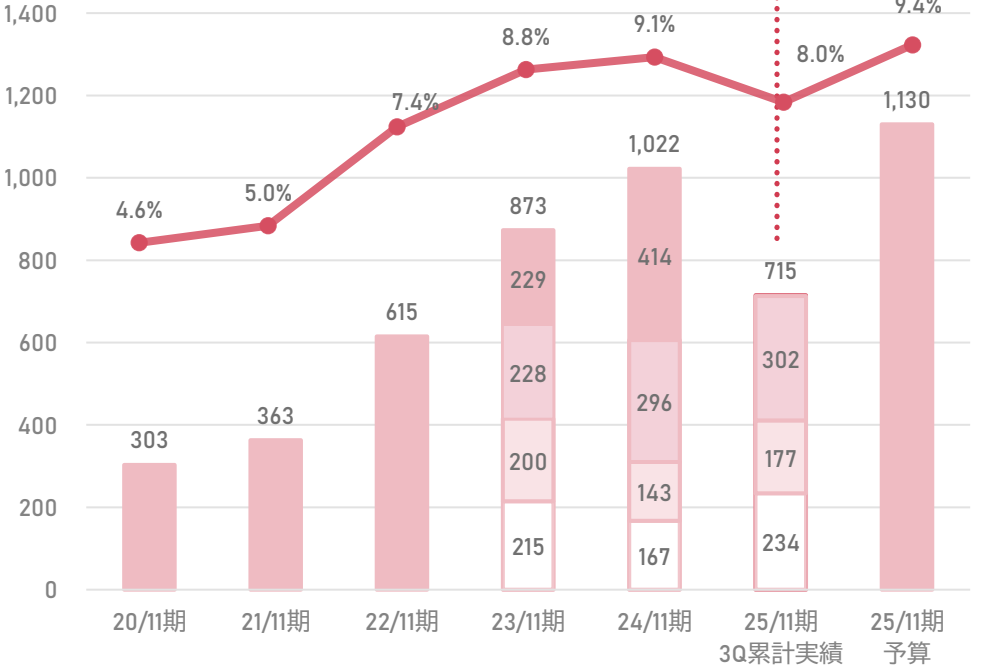
売上高

(単位:百万円)

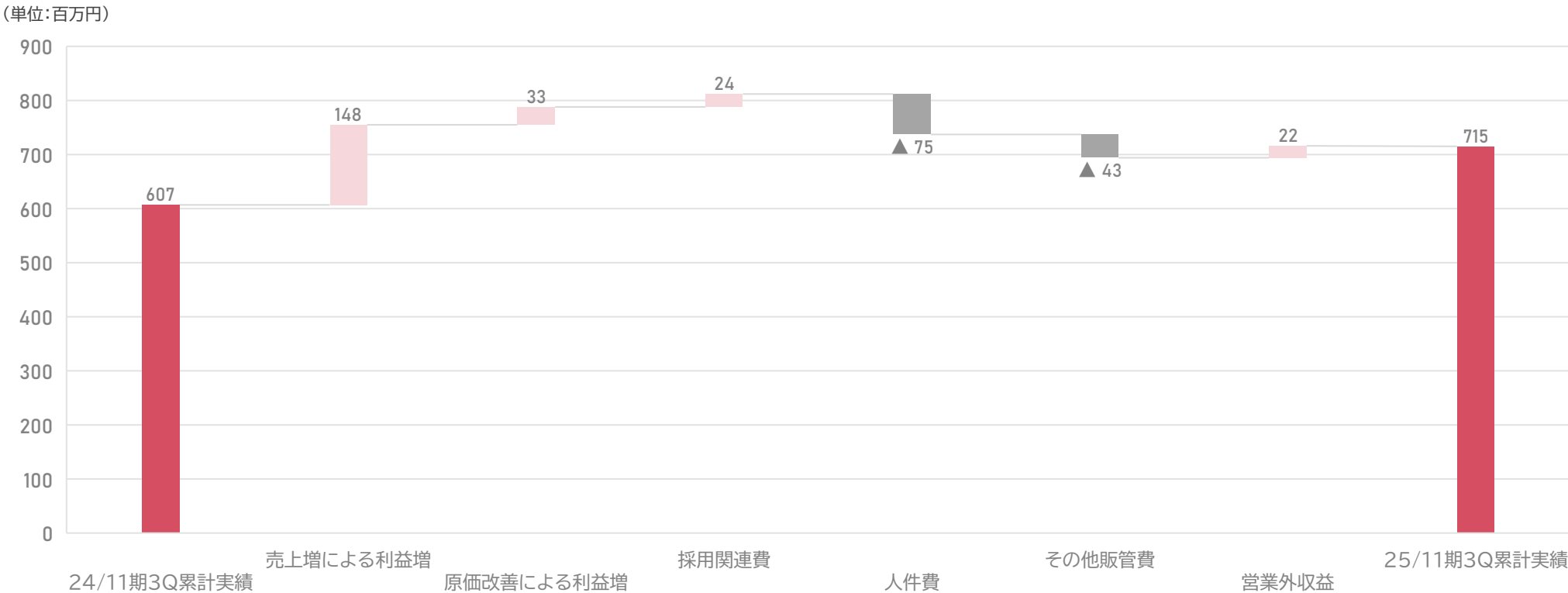


経常利益

(単位:百万円)



2025年11月期 第3四半期 前年同期比利益推移



新卒・中途採用が計画通りに進んだことでエンジニア数が増加したこと、営業力の強化により稼働率の改善ができたこと、継続的な単価交渉が成果に繋がったことで売上高が伸長し、売上総利益が増加。その結果、経常利益は前年+107百万円の増益。

高単価案件への受注シフトと稼働率の回復により、売上総利益率が良化したことに伴い各段階利益は前年同期比で増益

(単位:百万円)

	2024年11月期 第3四半期累計実績	2025年11月期 第3四半期累計実績	前年同期比
売上高	8,297	8,894	+7.2%
売上原価	6,240	6,656	+6.7%
売上総利益	2,056	2,237	+8.8%
売上総利益率	24.8%	25.2%	
販売費及び一般管理費	1,509	1,603	+6.3%
営業利益	547	633	+15.8%
営業利益率	6.6%	7.1%	
営業外収益	60	83	+37.1%
営業外費用	0	1	+407.2%
経常利益	607	715	+17.7%
経常利益率	7.3%	8.0%	
特別利益	-	-	
特別損失	-	-	
税引前当期純利益	607	715	+17.7%
法人税等	210	245	+16.7%
当期純利益	396	469	+18.3%
当期純利益率	4.8%	5.3%	

売上の伸長により流動資産が増加。これに加え、運転資金として短期借入金を新たに調達し、M&Aや資本業務提携に向けた取り組みを加速する

(単位:百万円)

	2024年11月期 実績	2025年11月期 第3四半期実績
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,999	3,670
売掛金及び契約資産	1,519	1,423
流動資産合計	4,567	5,132
固定資産		
有形固定資産	56	66
無形固定資産	15	12
投資その他の資産	309	457
固定資産合計	381	536
資産合計	4,949	5,669

	2024年11月期 実績	2025年11月期 第3四半期実績
負債の部		
流動負債		
短期借入金	-	300
未払費用	851	877
流動負債合計	1,740	2,373
固定負債		
固定負債合計	212	212
負債合計	1,952	2,585

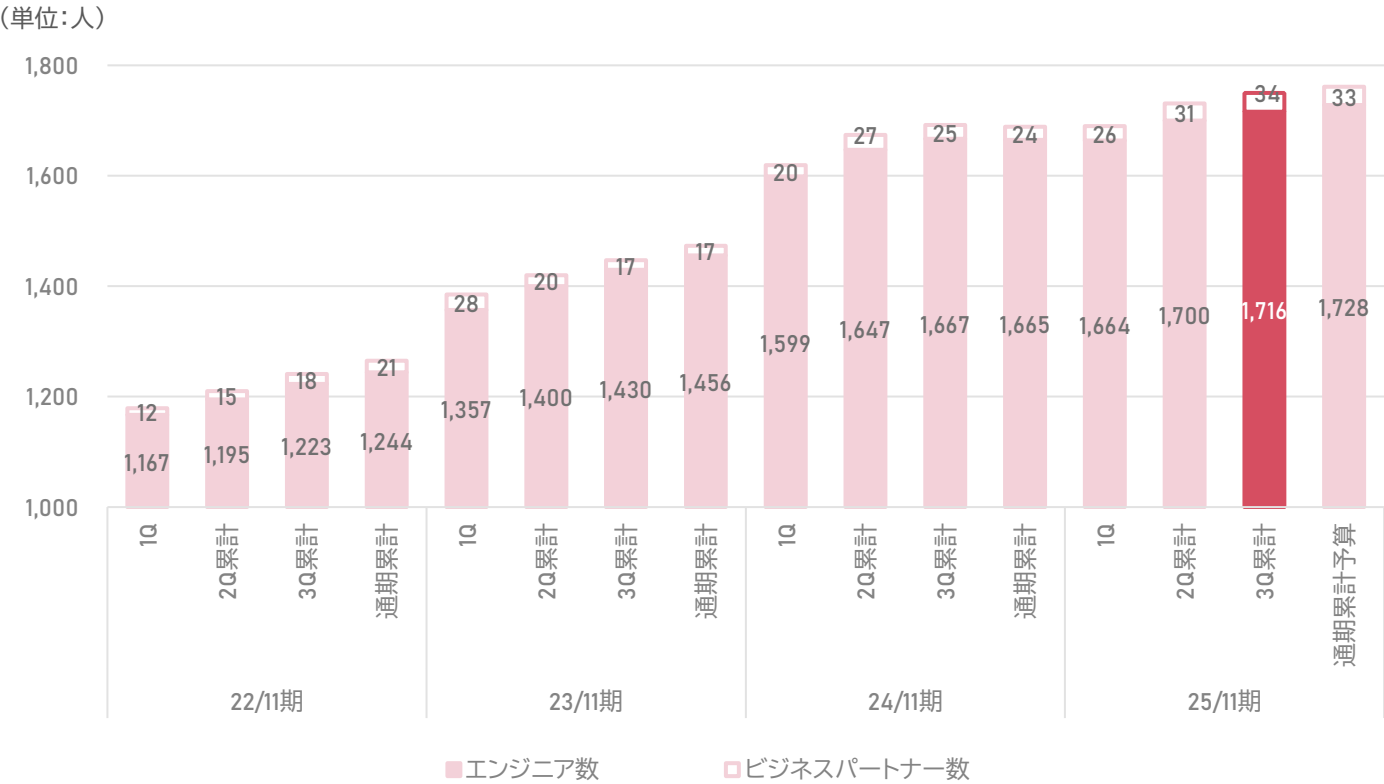
純資産の部		
株主資本		
資本金	22	23
利益剰余金	2,988	3,074
自己株式	-101	-101
株主資本合計	2,996	3,083
純資産合計	2,996	3,083

負債純資産合計	4,949	5,669
---------	-------	-------

エンジニア数は、新卒・中途採用を継続的に進めた結果、3Q累計で前年同期比58名の増加



トピックス 6月以降は即戦力採用に注力しているため、エンジニア数は横ばい傾向



※エンジニア数:期中平均のエンジニア在籍数、ビジネスパートナー人数
※エンジニア数には臨時従業員を含む
※記載の数値は期中平均の値

(参考) 期末時点のエンジニア数

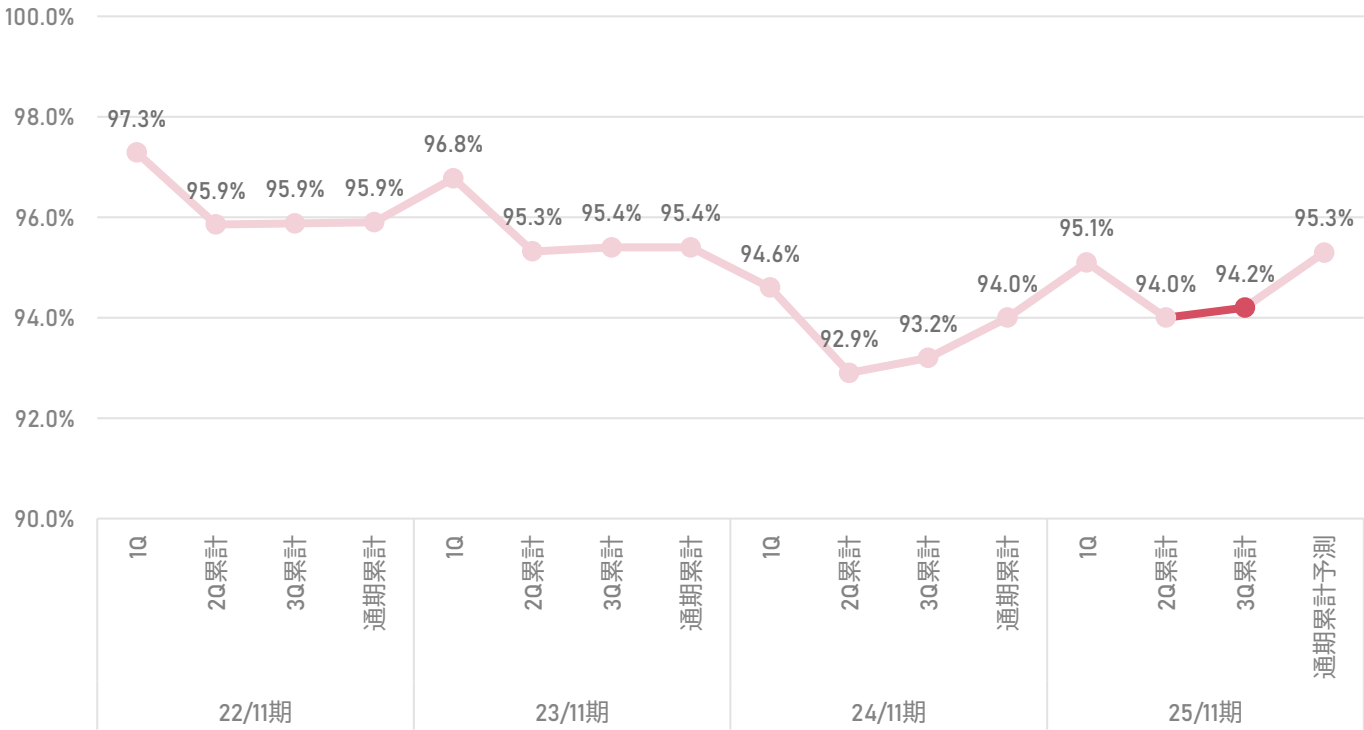
	1Q	2Q	3Q	4Q
2024年11月期	1,624名	1,731名	1,695名	1,651名
2025年11月期	1,678名	1,772名	1,739名	

稼働率は、待機期間短縮の取り組みを継続した結果、3Q累計で前年同期比1%改善した



トピックス

4月の一時的な稼働率低下も、新卒エンジニアが稼働開始したことにより良化傾向で推移



※稼働率: (月ごとのエンジニア稼働数+ビジネスパートナー稼働数の合計)÷
(月ごとのエンジニア在籍数+ビジネスパートナー人数の合計)×100
※エンジニア稼働数には臨時従業員を含む
※記載の数値は期中平均の値

(参考) 会計期間毎の稼働率

	1Q	2Q	3Q	4Q
2024年11月期	94.6%	91.4%	93.6%	96.4%
2025年11月期	95.1%	93.0%	94.2%	

一人当たり売上高は、単価改定に加え継続的な単価交渉の効果もあり、3Q累計で前年同期比13千円/月向上

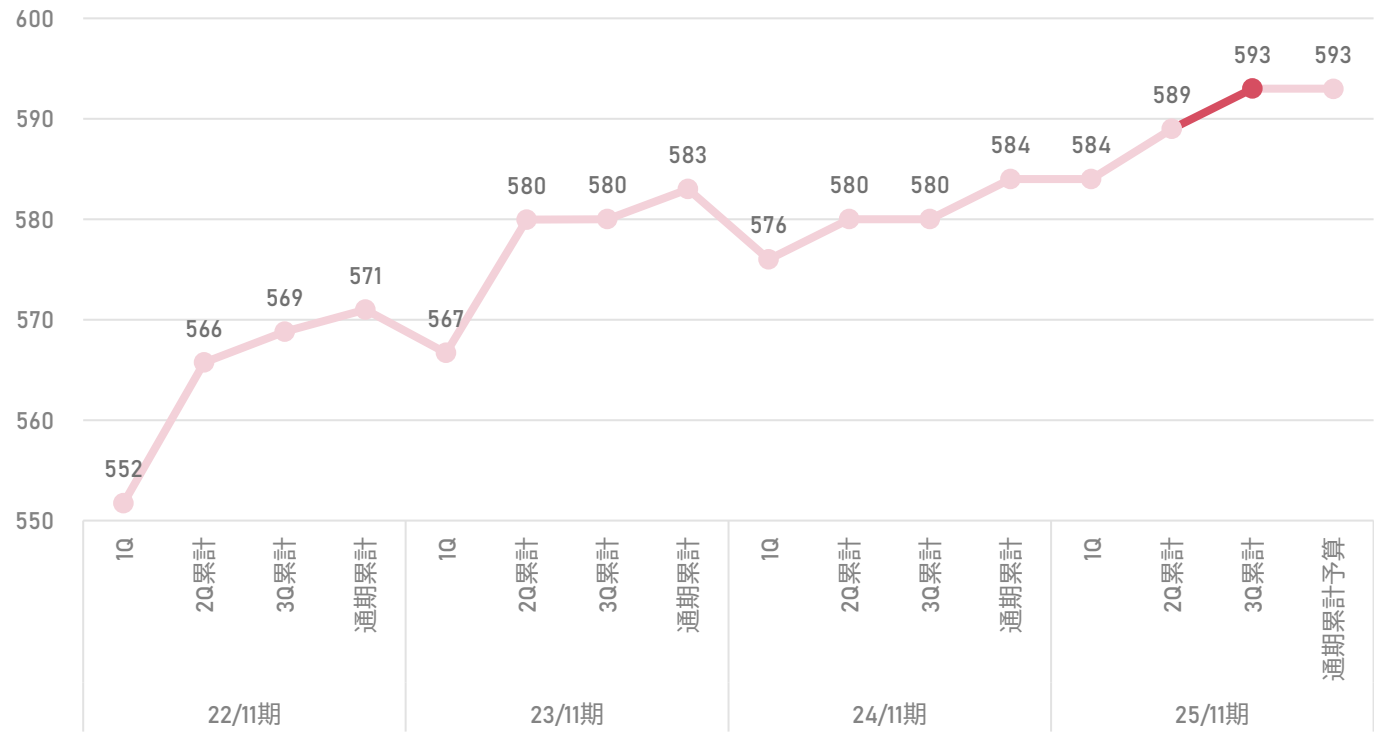


一人当たり売上高

トピックス

戦略的に高単価案件へシフトしていることで上昇傾向

(単位:千円/月)



※一人当たり売上高: 累計期間の売上高÷(月ごとのエンジニア稼働数+ビジネスパートナー稼働数の合計)

※記載の数値は期中平均の値

(参考) 会計期間毎の一人当たり売上高

(単位:千円/月)

	1Q	2Q	3Q	4Q
2024年11月期	576	583	580	596
2025年11月期	584	593	601	

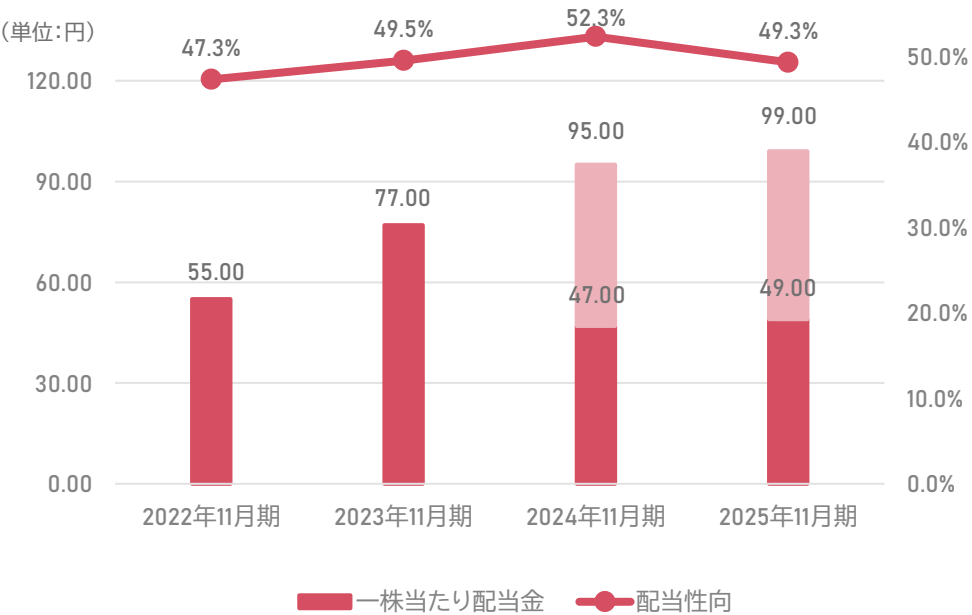
■ 即戦力のエンジニア採用に注力することと、エンジニア単価の更なる向上により業績予想の達成を目指す

(単位:百万円)

	2024年11月期 実績	2025年11月期 見通し	前年同期比	
			増減額	%
売上高	11,211	12,050	839	7.5%
売上総利益	2,898	3,170	272	9.3%
営業利益	945	1,040	95	9.9%
経常利益	1,022	1,130	108	10.5%
純利益	722	800	78	10.7%

通期では、配当方針である配当性向50%水準を堅持し、継続的な増配を計画

配当金・配当性向の推移



(単位:円)

	2022年11月期	2023年11月期	2024年11月期	2025年11月期 (予想)
一株当たり 当期純利益	116.28	155.52	181.51	200.81
一株当たり 配当金	55.00	77.00	95.00	99.00
配当性向	47.3%	49.5%	52.3%	49.3%

02

Progress of Medium-Term Management Plan

中期経営計画の進捗

基本戦略における25/11期第3四半期の主な取り組み状況

事業戦略



エンジニア単価の向上

期初に計画していた年間の単価アップ率を達成、更なる上積みを図る

受託開発の推進

受注金額が億単位の公共入札案件を受注

人材戦略



エンジニアの育成

経営トップがリーダーエンジニアと直接対話する場を設定し、理念を共有

定着率の向上

エンゲージメント向上に繋がる施策を、全社横断のプロジェクトで推進

財務戦略



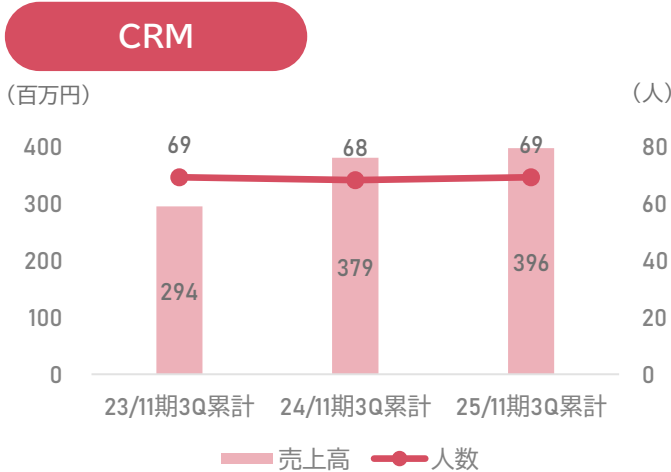
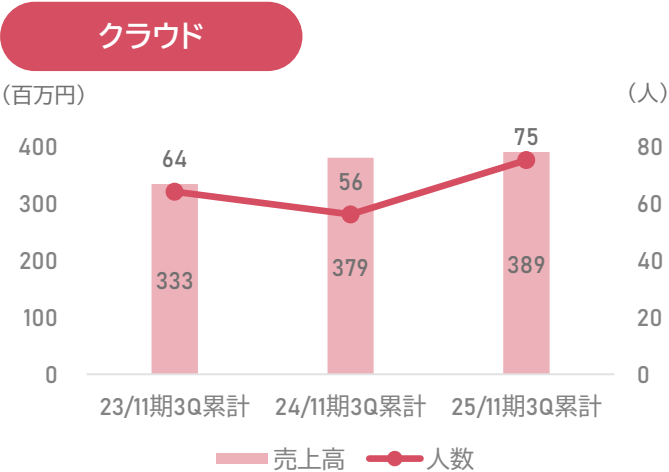
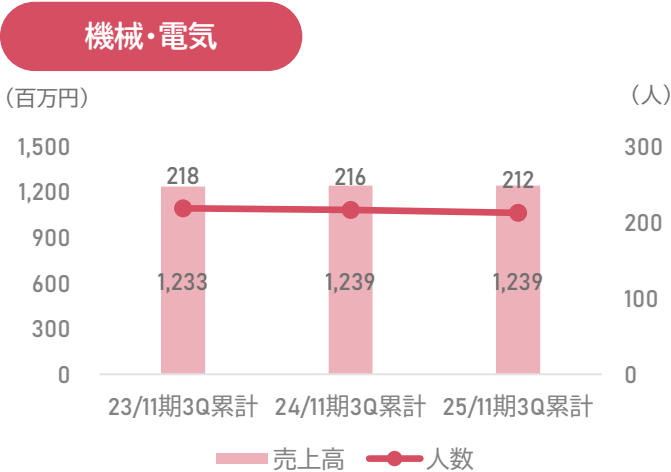
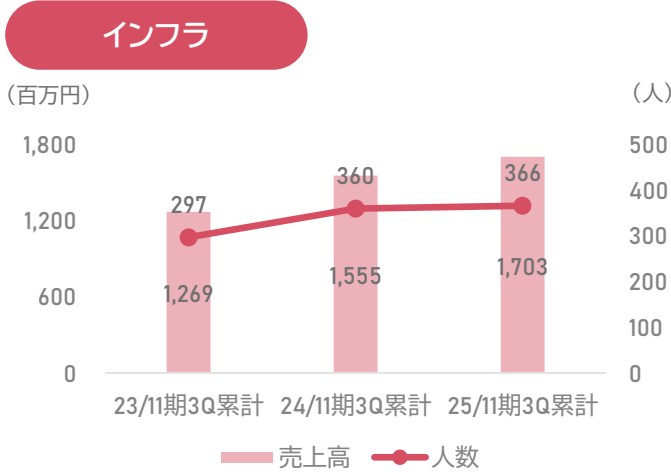
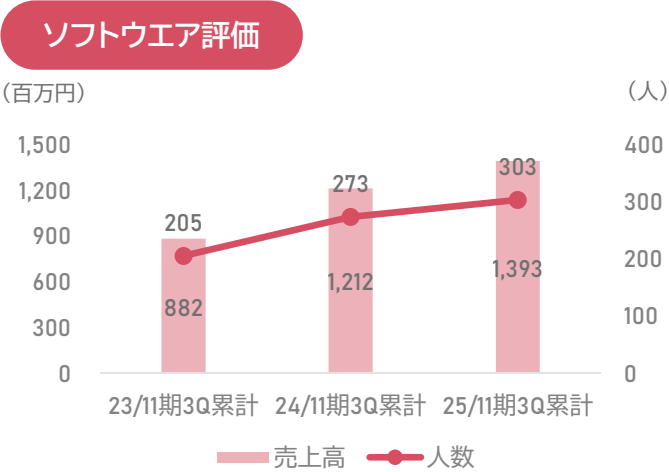
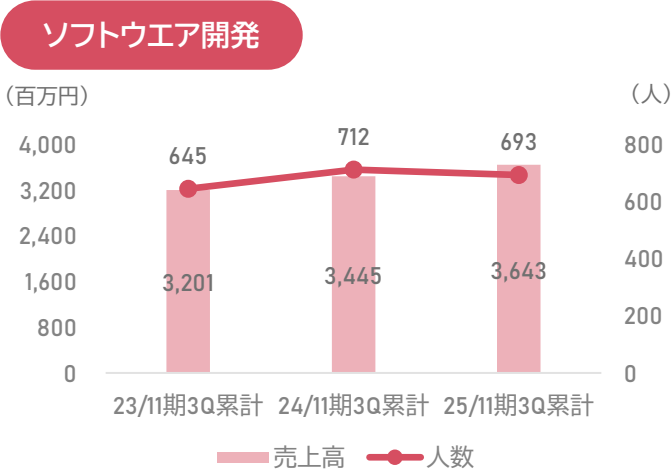
戦略的M&Aの推進

既存事業の強化につながる案件を積極的に探索

事業所の開設

採用オフィスの事業所化による事業活動の更なる広域化を計画

IT分野は一人当たり売上高の上昇により売上高は順調に推移、特にソフトウェア評価は業務提携先との連携効果もあり好調



その他のトピックス

新規事業の取り組み

人材紹介サービス

▶ 業界専門転職支援サイト「Prime Career」



／
「不動産」・「設備」・「建設」に特化した
自社転職支援サイトを設置
＼

企業



専門性の高い職種における即戦力
およびポテンシャル人材の
採用支援で事業成長に貢献する



個人



キャリアの最盛期をアップデートし
生涯年収の向上に貢献する

25/11期は3Q累計で41人の就職支援を実施

社会貢献活動

J-college 小学生向けITリテラシー講座

▶ 子どもたちに「エンジニアの仕事」を知ってもらう活動を開始



クイズで学ぼう！目指せネットルール博士！

5つのテーマ

個人情報

SNS

スマホのルール

ゲーム&CM

困ったとき

実際の様子



川崎市内の小学校など17施設・約520人のキッズに認定証を授与

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これら将来の見通しに関する記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されています。

これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。このような将来予測に関する記述には、必ずしも既知および未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。

上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内および国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

また、当社以外の事項・組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社はそのような一般に公開されている情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証しておりません。